

【記載例（漁船）】

第二十号書式（第七十三条関係）（日本産業規格A列4番）

災 害 疾 病 発 生 状 況 報 告 書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）〔① 災害 〕 疾病 〕										
沖縄総合事務局長 殿					令和4年4月5日提出					
主たる船員の労務管理を行う事務所					船 舶 所 有 者（本 社）					
所在地：（電話）					住所（所在地）：（電話）					
名称					氏名（名称）					
担当者氏名					常時使用する船員数					
発生年月日	年	月	日	船員の年齢	歳	性 別	男・女	職名	国 籍	日本人・外国人
②船舶の用途			総トン数	トン	③傷病名				④作業員数	人
⑤ て ん 末	1) 災害発生場所 漁獲物用急冷室で									
	2) 災害発生時の作業 漁獲物を急冷室に運搬する為のベルトコンベアのベルトの張り具合を調整していたときに、									
	3) 災害発生の要因（Ⅰ気象、海象 Ⅱ船舶・船内設備、積荷等 Ⅲ作業行動、船内における作業環境）									
	Ⅲ室内が暗かったので調整している作業者が見えず、作業中であることを知らなかったため他の人がスイッチを入れてしまい、									
	Ⅱまた、ベルトを調整するのに、動力の主電源を遮断していなかったことから、 （Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなどの数字は記入しなくても、結構です。									
4) 発生した災害の内容 動力の歯車に指を巻き込まれ、人差し指を根元から切断してしまった。										
5) 災害を防止するために講じた措置又は講じようとする措置 室内の照明を明るくする。作業の際は電源を切り、操作ボタンに「調整中」の札を掛ける。作業を船内に放送し確認の声を掛け合う。以上を踏まえ、作業手順の再確認を行った。										
⑥休業日数	日	⑦身体障害				⑧下船・退職等				